

臨床心理学専攻(専門職学位課程)

2025年度入学者選抜問題(専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I. 次の問題1から問題20までの設問を読み、解答しなさい。

問題1

言語の発達に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① Chomsky, N. は、世界の全ての自然言語はある種の特性を備えており、ヒトの脳は全ての言語が作り出すことの特性に対して敏感であるように作られており、言語の習得は基本的には環境とは独立に行なわれる、と考えた。
- ② 認知論的立場では、言語行動を人間の感覚、知覚、注意、思考といった知的な働きや身体の仕組みや働きとの関わりの中で捉えようとする。
- ③ 日本の乳児では、1歳頃までに初語が現れ、5歳までに2000～2500語を習得するとされている。
- ④ 言語習得には、ある程度の臨界期があることが知られているが、その後の新奇な音声の学習が不可能になるような弁別能力や神経系の恒久的欠如は起こらない。
- ⑤ Luria, A. R. は、言語発達言語行動の学習であり、他の行動と同じように狭い意味での学習理論で説明可能と考えた代表的な心理学者である。

問題2

乳幼児のアタッチメント行動に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 特定対象に向かって微笑む
- ② 特定対象に手を伸ばす
- ③ 危険を感じた時や困った時に助けを求める
- ④ 大人から渡されたおもちゃを受け取る
- ⑤ 特定対象の後を追う

### 問題3

視覚に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 錐体細胞は網膜の中央部分に密集しており、色覚機能を有している。
- ② 桿体細胞は網膜上に存在している。
- ③ 三色説では3種の視物質を仮定し、その物質の異化・同化作用で視覚が生じると考えられている。
- ④ 三色説では視覚現象である混色・補色の説明が可能である。
- ⑤ 反対色説では視覚現象である対比や残像の説明が可能である。

### 問題4

Freud, S. の心の構造論に関する次の記述の中から、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① エスは意識の領域にある。
- ② 自我は快感原則に従う。
- ③ 超自我は理想を追求するように働く。
- ④ エスは親のしつけの影響を受けている。
- ⑤ 自我のエネルギーとしてリビドーが想定されている。

### 問題5

家族療法に関連する概念として、最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選びなさい。

- ① 自己一致
- ② 補助自我
- ③ スクイグル
- ④ ドリーム・ワーク
- ⑤ 二重拘束

### 問題6

負の強化に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 学校の先生から怒られないように、宿題を忘れずに行く。
- B. 親からお小遣いをもらえるので、お手伝いをする。
- C. 犬にかまれて以降、犬に近づかなくなる。
- D. 不安でしかたないため、プレゼンの直前までリハーサルをする。
- E. 勉強を頑張ってもよい成績がとれないので、勉強をしなくなる。

- ① A B
- ② A D
- ③ B E
- ④ C D
- ⑤ C E

### 問題7

発達検査に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 乳幼児精神発達診断法（津守・稲毛）は、直接観察による乳幼児の精神発達検査である。
- B. Brazelton, T. B. の新生児行動評価は、生後三日目より適用できる。
- C. Gesell, A. の発達検査（新発達診断学）は、親からの情報に基づき乳幼児の精神発達を測定する。
- D. Užgiris, I. Č. と Hunt, J. McV. による乳幼児発達評価尺度は、Piaget, J. の認知発達理論に基づく発達検査である。

- ① A B
- ② A C
- ③ A D
- ④ B C
- ⑤ B D

### 問題8

新版 K 式発達検査 2020 に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 知能指数を算出することができる。
- ② 8歳から成人までの発達を測定することができる。
- ③ 精神年齢が算出できる。
- ④ 「姿勢・運動 (P-M)」、「認知・適応 (C-A)」、「言語・社会 (L-S)」で構成されている。
- ⑤ 養育者からの聴取を中心に行われる。

問題9

日本版 WISC-V に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 適用年齢は、6歳0ヵ月から16歳11ヵ月である。
- B. FSIQ、主要指標、補助指標の3つの指標レベルで解釈できる。
- C. 主要下位検査とは、主要指標を算出するのに必要な12の下位検査のことである。
- D. FSIQを含め、11の合成得点が算出できる。

- ① A B
- ② A D
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ C D

問題10

ロールシャッハ・テストに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 全体反応が多いほど知的に高い。
- B. 動物反応が最も多くなることが一般的である。
- C. 性反応が生じることは少ない。
- D. 良形態質反応は多いほどよい。

- ① A B
- ② A D
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ C D

問題11

「学習性無力感」を提唱した人物として、次の選択肢の中から正しいものを一つ選びなさい。

- ① Baron-Cohen, S.
- ② Piaget, J.
- ③ Skinner, B. F.
- ④ Bandura, A.
- ⑤ Seligman, M. E. P.

#### 問題12

DSM-5に基づく神経性無食欲症に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 肥満への恐怖は、体重減少によって緩和される。
- B. 低体重・低栄養の状態が長く続いた場合、まずは身体的なケアが優先される。
- C. 女性特有の疾患である。
- D. 神経性過食症との違いは、有意に低い（正常範囲の下限を下回る）体重に至っていることである。

- ① A B
- ② A C
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ C D

#### 問題13

認知症に関する次の記述の中から、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 認知症は、せん妄のリスクファクターである。
- ② レビー小体型認知症では、幻聴や妄想などの多彩な精神症状が出現する。
- ③ 前頭側頭葉型認知症では、末期まで穏やかな人格が保たれる。
- ④ アルツハイマー型認知症では、階段状に症状が進行する。
- ⑤ 脳血管性認知症では、末期まで近時記憶が保たれる。

#### 問題14

障害者の支援に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 障害者総合支援法は、全ての国民は障害の有無に関わらず等しく基本的人権を享有する個人として尊重されるとの理念を持つ。
- ② 就労移行支援事業所は利用可能な期間に上限があるが、就労継続支援 B 型施設では上限はない。
- ③ 障害者の法定雇用率の算定基礎には、身体障害者・知的障害者・精神障害者が含まれる。
- ④ 障害者差別解消法では、事業者に対してあらゆる手立てを尽くして社会的障壁を除去することを義務付けている。
- ⑤ 現行の障害者雇用促進法では、週あたり 10 時間以上 20 時間未満労働する重度身体障害者、重度知的障害者および精神障害者も雇用率に算定することが可能である。

#### 問題15

職場復帰支援に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 休業開始時には、傷病手当金などの経済的保障について説明する。
- ② 職場復帰後は、決定した職場復帰支援プランに沿うようにフォローアップする。
- ③ 職場復帰支援のプロセスは、職場復帰までの5段階で構成されている。
- ④ 主治医から復職可の診断書が提出され、本人が職場復帰を希望する場合は職場復帰させなければならない。
- ⑤ 休業した労働者の最終的な職場復帰は主治医が決定する。

#### 問題16

臨床心理士の倫理に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 臨床心理士とクライアントが会社の同僚である場合、対等な立場なので、多重関係には該当しない。
- ② 臨床心理士倫理綱領は、秘密保持や援助・介入技法など、7ヶ条で構成される。
- ③ クライアントの上司からの問い合わせの際、クライアントの同意を得られていないが来談していることを伝えた。
- ④ 担当するクライアントとの関係を深めるためであれば、勤務時間外での会食は多重関係にはならない。
- ⑤ 臨床心理士は、心理支援の終結後であっても、クライアントと私的な関係を結ぶことは問題がある。

#### 問題17

日記を書くことが、抑うつ気分の緩和に効果があることを検証する研究において、40名の参加者の協力を得た。毎日日記を書く群と、毎日詩を読む群に20名ずつランダムに割り当て、割り当てられたこと（毎日日記を書く、あるいは毎日詩を読む）を4週間行ってもらった。研究開始前、研究開始2週間後、研究開始4週間後に抑うつ気分の尺度に回答してもらった。この研究デザインとして、次の選択肢のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 1要因のランダムデザイン
- ② 1要因の反復デザイン
- ③ 2要因の被験者内デザイン
- ④ 2要因の被験者間デザイン
- ⑤ 2要因の混合デザイン

#### 問題18

$t$  検定や分散分析の手続きに関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 3群以上の母平均の比較においてどの群間で有意差があるかは、多重比較によって検討する。
- ② 3つの群間の平均値を比較したいときには、 $t$  検定による2群比較を2回繰り返す。
- ③ 分散分析による統計的仮説検定の過程で参照する確率分布は、 $F$  分布である。
- ④ 2要因分散分析において交互作用がみられた場合には、単純主効果の検定を行う。
- ⑤ 対応のない2群の  $t$  検定では、各群の標準偏差が小さいほど、有意な差があるという結果が生じやすい。

#### 問題19

令和5年6月に可決された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」(認知症基本法)に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 法が成立した背景には、2025年に高齢者の3人に1人が認知症となるという推計がある。
- ② 法には、7つの基本理念があり、認知症の人の基本的人権を尊重し、尊厳ある暮らしをするために必要なことが定められている。
- ③ 認知症当事者だけでなく、その家族等についても、安心して暮らせるような社会を作ることが重要視されている。
- ④ 若年性認知症当事者の雇用の継続や就職支援なども重視されている。
- ⑤ 政府は、認知症当事者及び家族等により構成される関係者会議の意見を聴き、認知症施策推進基本計画を策定する役割を担う。

#### 問題20

令和5年に一部改正された配偶者暴力防止法に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 同法は、日本国籍を有するもののみを対象としている。
- ② 同法は、すでに別居している配偶者も対象としている。
- ③ 同法による、接近禁止命令発令の要件は、改正により拡大された。
- ④ 同法による、接近禁止命令の要件を満たす場合、配偶者が被害者と同居する子どもへ電話等すること等も禁止できる。
- ⑤ 保護命令違反に対しては、厳罰化されている。

Ⅱ. 次の専門用語について説明しなさい。

(1) アイデンティティ拡散

(2) マインドフルネス







